

# 予算特別委員会 審査概要

## 平成19年度予算特別委員会



平成19年度の予算案は、2月27日の本会議初日に上程され、議会は8人の委員で構成する予算特別委員会（委員長・石黒実）を設置しこれに付託後、3月16・19・23日の3日間慎重に審査を行いました。

審査の結果、一般会計予算及び国民健康保険・老人保健医療・介護保険・公共下水道・駐車場事業・受託水道事業の特別会計予算は原案のとおり可決されました。

一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ211億6100万円で、前年度比12億1700万円減（5.4%減）となりました。

以下は各委員から予算執行と財政運営について活発な議論が行われた予算特別委員会の主な質疑です。

委員	石黒	実
委員長	田辺	良彦
副委員長	須田	繁美
委員	栗山	欽行
委員	大場	てる子
委員	正木	きよし
委員	佐々木	貴史
委員	鈴木	えつお

## 一般会計予算の審査から

### 【総括】

- 職員を減らした分、嘱託、臨時職員などで手当てしなくてはならないところが出てくるが、現状と今後はどのような比率となるか。
- 経常収支比率が高いが、その要因をどのように分析しているか。
- 予算編成に当たりどのような点を課題として議論したか。
- 19年度予算編成に事務事業評価をどのように活用したか。
- 財政健全化に向け取り組んでいるところだが、今後の方針はどのようなか。
- 19年度の教育重点施策はどこにあるか。
- 交通不便地域の解消について、19年度の取り組みは。
- ごみ行政の歳入を「ごみ行政の基金等に積み立てるべきだが、一般会計に投入されている。収支均衡型財政を目指すときは、臨時財政対策債を見込んで考えるべきではないか」と思うが、見解はどうか。
- 三中はまちづくり総合プランの中で移転の計画があり、耐震診断をしないということであった。ここにきて耐震診断を進めていくことは、三中は移転をしないということか。
- 経常収支比率は、6年連続三多摩ワーストワンになる可能性大と考えるが、どのように考えるか。
- アドプト制度で活動している状況がほかの市民にも見え、より広がりを持つようには

て欲しい。どのように考えているか。

### 【歳入】

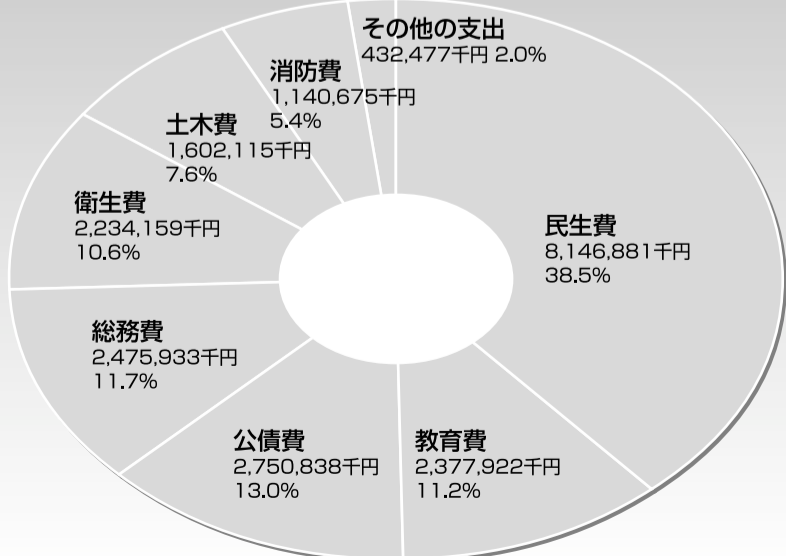
- 団塊の世代が退職して特別徴収から普通徴収に移行するが、その対象者はどのぐらい増加するのか。
- 三多摩の場合、広告関係の占用料に差はあるか。
- 臨時財政対策債は満額借り入れるのか。

### 【歳出】

- 庁舎に授乳室が設置されるが、市民への周知の予定はどのようなか。
- 広報の掲示板修繕の計画は。
- 公共施設再編方針策定は、どのように行革とつながるのか。
- （民生費）
  - 保育園の待機児対策は現在どのような状況か。
  - 義務教育就学児医療費助成は、所得制限があるのか、又市民が受けられるサービスか。
- （土木費）
  - 狛江駅の高架下に駐輪場があるが満杯状態である。対策は、側溝・集水ますの清掃委託についてどのように考えているか。
- （消防費）
  - 耐震性防火貯水槽の整備の充足率は。
- （教育費）
  - 施設の予約システムをリニューアルするというが、どのように改善するのか。

## 平成19年度 狛江市一般会計予算

歳出予算額 21,161,000千円



歳入予算額 21,161,000千円

